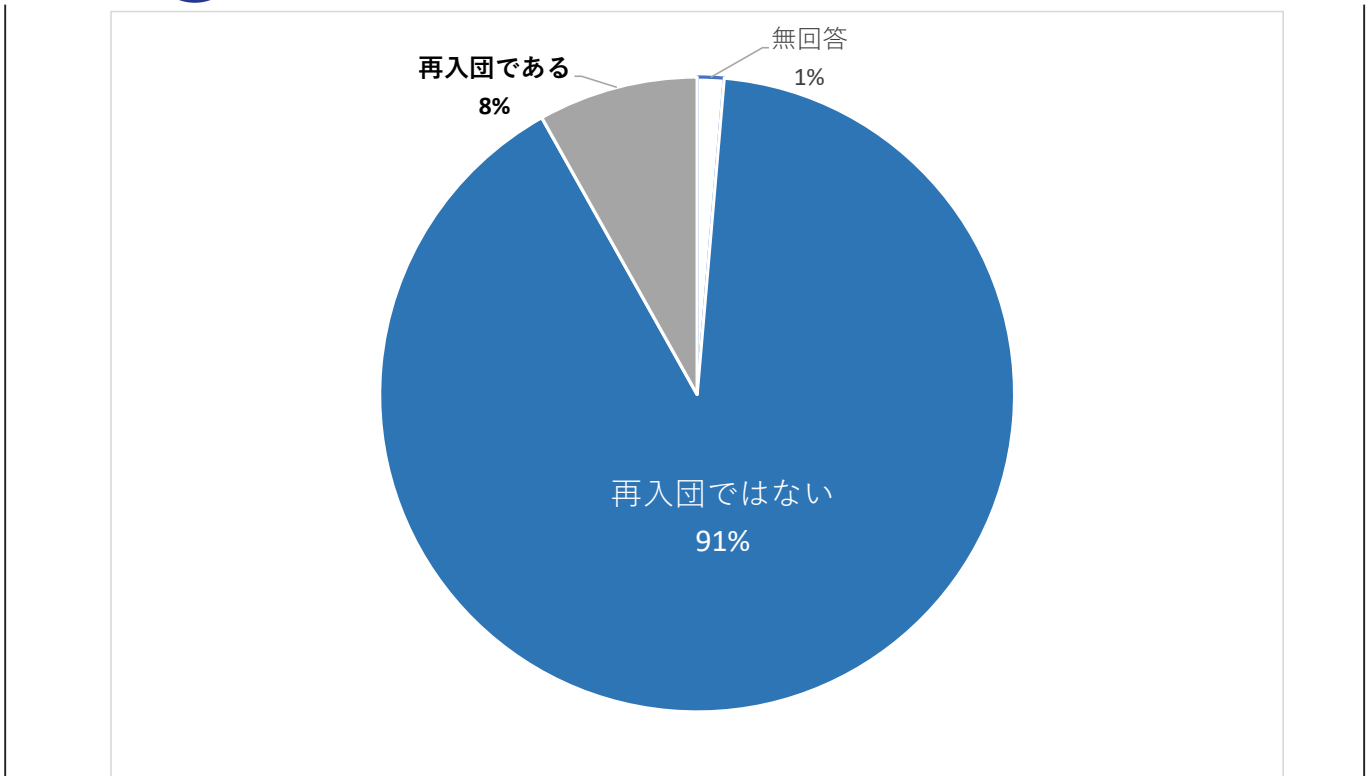


問12

再入団経験の有無



問12. 消防団員の「再入団経験の有無」

1. 質問項目を設けた経緯:消防団員には再入団者がいる

ヒアリング調査において、「幹部まで勤めた団員が退団、その後、再びいち団員として再び入団しているケースがある」「引退したいところだが、団員数が減っており、再入団もしかたがない」「再入団者については操法練習などについては分団の判断で免除している」等の実態が示された。

2. アンケート調査項目:消防団員の「再入団経験の有無」

●再入団経験に関する質問.

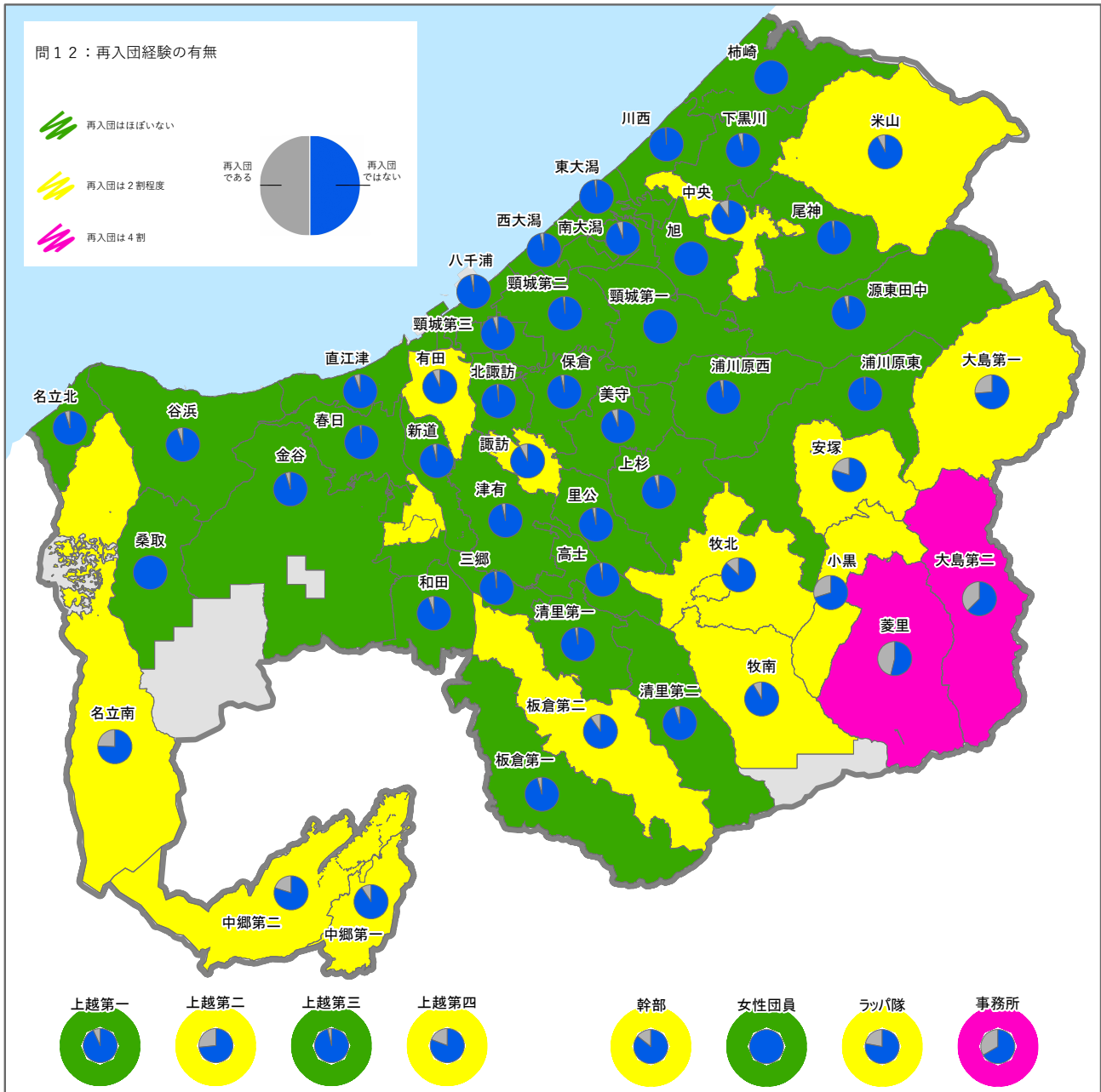
問12. あなたは再入団者ですか。(1つだけ選択)

- ・再入団ではない 3,124
- ・再入団である 281

※不明・無回答 47

3. 調査結果(円グラフ・全体):再入団が増加傾向にある

再入団者は、全体の8%であった。1割に満たない割合であるが、人数にすると281人に上る。上越市においては、再入団者を「機能別団員」と位置づけおらず、あくまで、基本団員として「再入団」することとしている。

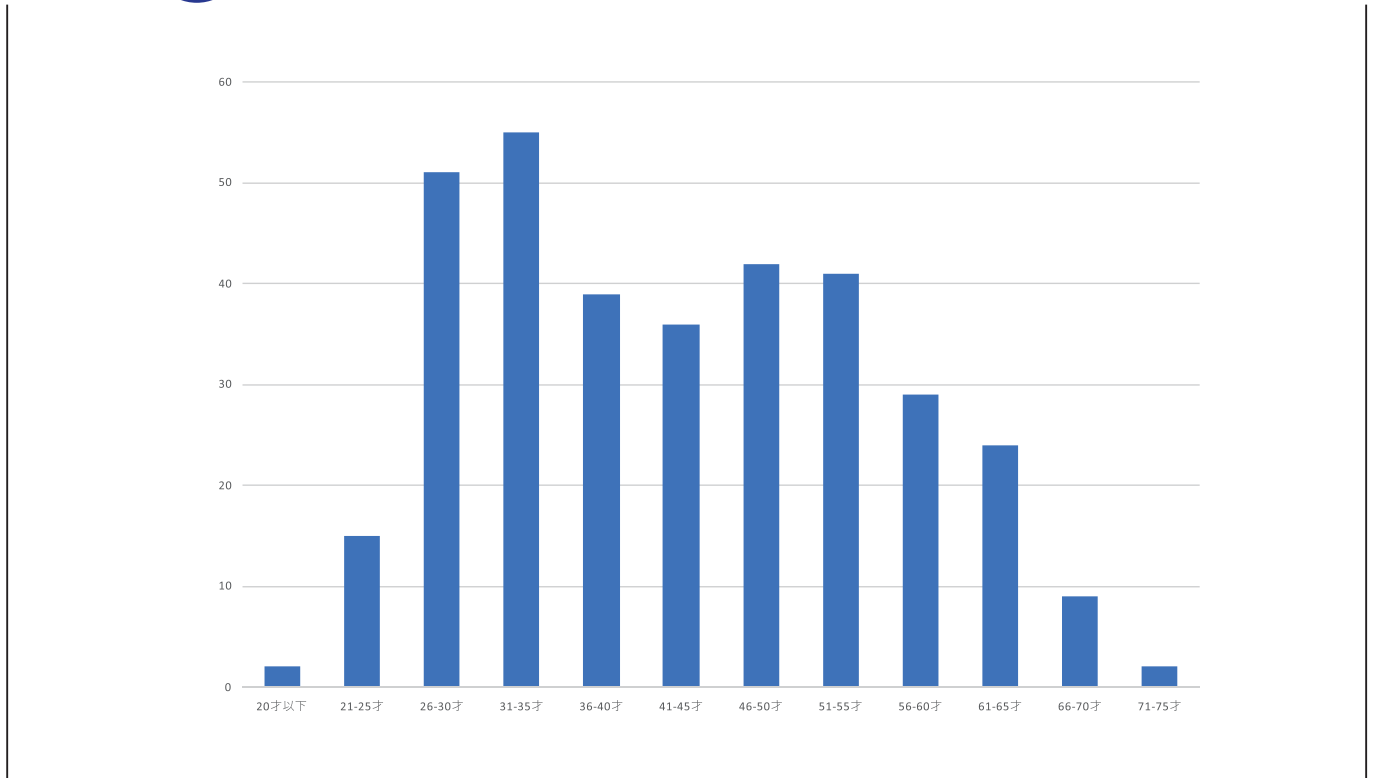


4. 57分団の傾向（不明・無回答は除く）：3つの傾向に分類できる

- 1) 「再入団経験のある団員が多い地域」 3分団
 (安塚菱里、大島第二、事務所)
 団員のうち再入団経験のある団員が3~4割強を占めている。
- 2) 「再入団経験のある団員が一定数いる地域」 17分団
 (ラッパ隊、上越第二、安塚、安塚小黒、中郷第二、上越第四、大島第一、名立南、幹部、牧北、柿崎米山、牧南、吉川中央、板倉第二、上越有田、上越諏訪、中郷第一)
 団員のうち再入団経験のある団員は2割程度である。
- 3) 「再入団経験のある団員がほぼいない地域」 37分団
 (頸城第二、上越新道、上越春日、上越第一、柿崎川西、上越第三、吉川源東田中、名立北、柿崎、柿崎下黒川、清里第一、板倉第一、上越保倉、吉川旭、上越北諏訪、浦川原東、東大湯、頸城第一、三和上杉、三和美守、上越金谷、上越直江津、頸城第三、女性団員、南大湯、浦川原西、上越高士、西大湯、上越津有、三和里公、上越和田、上越八千浦、吉川尾神、上越桑取、上越三郷、上越谷浜、清里第二)
 団員のうち再入団経験のある団員はほとんどいない(1割未満)。

問12 付

再入団経験の有無 再入団の年齢



問12付問. 消防団員の「再入団の年齢」

1. 質問項目を設けた経緯: 高齢の再入団者には課題がある

ヒアリング調査において、「再入団者の中には高齢者もいる」「高齢になると基本団員としての役割を全て果たすことは難しくなる」「再入団者の位置づけをどのようにするか、上越市としてのルールがないと、地域差が生じる」等の意見があった。

2. アンケート調査項目: 消防団員の「再入団の年齢」

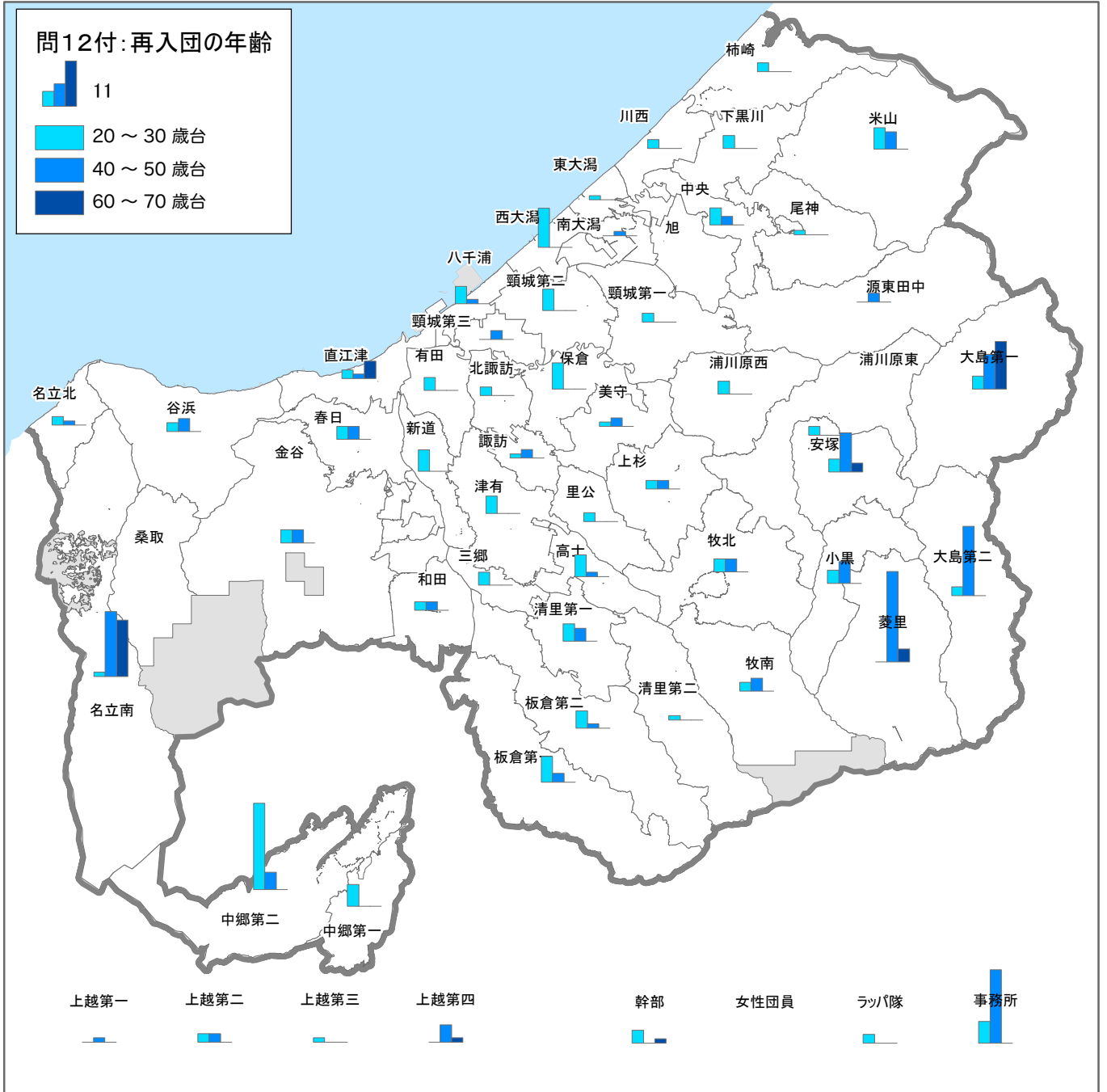
●再入団の年齢に関する質問.

付問. 「再入団である」を選択した方は、再入団した年齢を教えてください（2回以上再入団した場合は、直近の再入団の年齢を回答ください）

- ・ 20才以下 2
- ・ 21-25才 15
- ・ 26-30才 51
- ・ 31-35才 55
- ・ 36-40才 39
- ・ 41-45才 36
- ・ 46-50才 42
- ・ 51-55才 41
- ・ 56-60才 29
- ・ 61-65才 24
- ・ 66-70才 9
- ・ 71-75才 2
- ・ 76才以上 0

3. 調査結果(棒グラフ・全体): あらゆる世代に再入団者が存在する

再入団経験者が再入団した年齢は、特に高齢に偏っているわけではないことがわかった。



64頁に示した問12における再入団経験者の「再入団年齢」を分団ごとに可視化した。棒グラフは3本から構成されており、左から20・30歳台、真ん中が40・50歳台、右が60・70歳台の回答人数を示している。